



小樽商科大学

億万長者の佐野氏が設立した奨学金

官立小樽高等商業学校を前身とする小樽商科大学は、来年、創立110周年を迎える。

「建学以来の実学重視の姿勢や、広い視野と高い倫理観を身につけた、指導的役割を果たすことのできる人材の育成」という大学憲章の通り、企業のトップを目指す人材を数多く送り出してきた。

「北に一星あり、小なれどその輝光強し」という学内に伝わる謳い文句は、創立では小規模の単科大学ながら、数多の経営者を送り出

してきたプライドの表れだ。商大の同窓会組織「緑丘会」は、前身の設立以来校舎を置く、小樽市緑地区の丘にちなんだもの。

緑丘会は小樽や札幌ではなく、東京・池袋の高層ビル「サンシャイン60」の57階に本部（緑丘会館）を置いている。

これは高商時代の卒業生で、同ビルを建設した三菱地所社長を11年にわたって務めた中田乙一氏（32年卒）の尽力によるもの。

小樽市出身の中田氏は、宮城県（「泉パークタウン」）や札幌市厚別区（「森林公園パークタウン」）など各地、開発分野に進出。同社の中興の祖として知られる。

続いて、大手ソフトウェア企業・日本オラクル社長、会長を歴任した佐野力氏（63年卒）は、長者番付にもランクインした。OBとしての成功者だ。

空知管内栗山町出身の佐野氏は商大卒業後、日本IBM入社。一般企業向けコンピュータの販売で全国トップクラスの実績を記録するなど、営業マンとして才覚を発揮し、同期の出世頭。その後、データ・オラクルの経営者にヘッドハンティングされ、日本法人の社長を引き受けた。

90年の就任当時は社員5人の日本法人を急成長させた佐野氏は、同社の株式上

場の利益で、99年の高額納税者番付46位にランクイン。一躍億万長者となった。

2000年に退任後は篤志家として活動。志賀直哉ら「白樺派」と呼ばれる小説家の資料を収集・展示する「白樺文学館」（千葉県我孫子市）を私費で建設。

また、15年には商大に多額の寄付をおこない、これを原資とした「佐野力海外留学奨励金」を創設。昨年度までに260人の後輩が海外へ短期留学している。

海外の経済人としては、まず15年から緑丘会理事長を務めている島崎憲明氏（69年卒）。元住友商事副社長で、現在は野村證券ホールディングス監査委員長な

経済界

鹿内正孝 安永副社長	島崎憲明 元住友商事副社長 野村證券ホールディングス監査委員長	佐野力 元日本オラクル会長 白樺文学館館長	佐藤良雄 キャリアンク社長 (短大卒)	栗林和徳 栗林商会社長	朝倉由紀子 SOG社長

経済界

橋本清美 ロジネットジャパン社長	嵐村公宏 北海道イン社社長 小樽商工会議所副会長	塚原敏夫 上川大商議社社長	田中一良 田中商議社社長	田尻福雄 メディアカルシステム ネットワーク社長 (短大卒)	下斗米寛泰 元札幌建設社長・元ロジネットジャパン副社長 元リサーチ・アブネの副社長

経済界

渡邊克仁 北部交通社長	平尾一彌 北海道中央バス会長 北海道バス協会会長

石田建隆 東海東京フィナンシャルホールディングス社長、石塚尚彦 日本オラクル副社長、十河政則 ダイキン工業社長、西永博司 エンホールディングス社長、石塚幸俊 ブルックソース社長、中村幸司 ムーンパット会長兼社長、平井隆雄 進学舎ホールディングス会長、田原隆幸 ムトウ会長、藤井敬一 大丸藤井セントラル社長、種谷清札幌産床検査センター社長、江崎正夫 北海道中央食糧社長、廣野勝利 ヒロノ社長（短大卒）、滝原健雄 北一硝子社長（短大卒）、荒木毅 大北建設工業社長、富良野商工会議所副会長、小笠原康正 テーオーホールディングス社長、加藤祐功 いちまるグループ代表、野村文香 十勝バス社長、帯広商工会議所副会長

官公庁・首長	金融
加藤剛士 名寄市長	山田隆秀 室蘭信用金庫理事長
吉本淳一 北海道信用金庫会長	遠藤修一 大地中央信用金庫理事長

佐々木徹雄 総合政策部地域振興監、高野博洋 道空知総合振興局長（短大卒）、鳴海拓史 道島総合振興局長（院卒）

文化・芸術	マスコミ
福井慎二 NHKアナウンサー社長	

石部善壽 STVラジオ社長、市川泰 NHKアナウンサー、塩地美穂 フリーアナウンサー、吉田幸弘 オートテック社長

どこの役員や公職を務める。島崎氏の1年先輩で、緑丘会理事も務める東海東京フィナンシャルホールディングス社長の石田建隆氏は、函館市出身、函館中部高校卒業。旧東海銀行（現三菱UFJ銀行）に入行後は、欧州東海銀行頭取などを歴任後、銀行統合の中で、銀行傘下から独立系への道を歩んだ。東海東京証券グループの総帥として采配を振

るっている。

売上高2兆4000億円
株式会社総額5兆円という
空調機器世界最大手・ダイ
キン工業社長の十河政則氏
(73年卒)は、十勝管内池
田町出身。オノンホール
ディングス社長の西永裕司
氏(85年卒)は実家が以前
小樽市内で酒屋を営んでい
た。ブルドックス社長の
石垣幸俊氏(77年卒)は
札幌市出身で、札幌南高校
から商大に進んだ。

上川大雪酒造を支える緑丘会人脈

道内で活躍する商大OB
で、今もっとも注目を集め
ているのが、日本酒醸造の
上川大雪酒造社長・塚原敏
夫氏(90年卒)だ。

16年設立の同社が上川町
内に建てた酒蔵の名前はズ
バリ「緑丘蔵」。

塚原氏は「子会社を通じて
出資していたいた、日立

キャピタル前会長の三浦和
哉さんは商大OB。島崎理
事長には当社の取締役にも
就任していただいています
と本誌の取材に語っていた。

また今年夏には、帯広畜
産大学構内に二つ目の酒蔵
「碧雲蔵」を建設した。

同蔵を運営する新会社・
十勝緑丘には、上川大雪酒
造のほか、地元・帯広市の
いちまるホールディングス
も出資。同社社長の加藤祐
功氏も84年卒の商大OBだ。

碧雲蔵での醸造は、22年
4月に商大・畜大、北見工
業大学が統合されることか
ら、その象徴事業として進
められているもの。

さらには21年度末までに、
北見工大との協力を視野に、
北見市周辺でも酒蔵の建設
を予定している。

酒造りということでは、
小樽・田中酒造社長の田中
一良氏(80年卒)や、道内
最大手のワインメーカー・
北海道ワイン社長の宮村公

業務の道内大手、札幌臨床
検査センター社長の桶谷満
氏も79年卒だ。

地方の有力企業トップで
は、テリオール小笠原社長の
小笠原康正氏(79年卒)や、
空蘭支部長で栗林商會社
の栗林和徳氏(81年卒)な
ど地元の名門子弟が目立っ
ています。

マスコミに目を移すと、
NHK札幌放送局アナウン
サーの市川泰(78年卒)、
福井慎二(80年卒)のベテ

宏氏(85年卒)も著名だ。大学院で学んだ起業家精神

それぞれの地域で、中小
企業や地域住民の活力を下
支える信用金庫は、商大
OBの有力な就職先。

道内信金のトップでは、
北海道信金会長の吉本洋一
氏、大地みらい信金(根室
市)理事長の遠藤修一氏が
ともに78年卒の同期。

空知信金(岩見沢市)の
熊尾憲昭氏(81年卒)、室
蘭信金の山田隆秀氏(85年
卒)もそれぞれ、理事長と
して地域の発展に力を尽く
している。

また北海道信金は札幌信
金時代の08年から毎年、地
域貢献や人材教育の一環と
して商大で提供講義をおこ
なっている。非常勤講師と
して現役の信金職員が登壇
するのが特徴だ。

地域の足を支えるバス業

界では、まず北海道中央バ
ス会長の平尾一彌氏(66年
卒)の名前が上がる。長年
道バス協会会長も務める業
界の顔役だ。

一方、業界の「風雲児」
として知られる北都交通社
長の渡邊克仁氏(80年卒)
は大学時代、ハンドボール
部に所属。元北海道銀行専
務で道銀ビジネスサビス
社長の片山知洋氏(81年卒)
らと汗を流したそう。

ほかに、帯広市を拠点
とする十勝バス社長の野村
文吾氏が88年卒。帯広商工
会議所の筆頭副会頭を務め
管内の若手経営者が暮ら
在という。

自社の事業再生の物語が
自身を主人公にしたミュー
ジカルになったことも話
題に。その公演をプロデュ
ースしたのも、同じ商大卒
でコンサルタント会社を経
営する吉田理宏氏(86年卒)
だそう。

医療関連では、医療機器

出身の首長は少なく、私
が当選した時は珍しがられ
ました」という。

また、71年に設置された
大学院は、実践的な経営知
識やスキルを学べるることか
ら、起業や経営スキルを取
得を目指す社会人が通う。
北海道宝島旅行社社長の
鈴木宏一郎氏(01年院卒)
は、会社員時代に大学院で
学び、その後起業。体験型
観光の道内におけるパイオ

ニアだ。
04年には大学院が改組さ
れ、アントレプレナー専攻
が設置。同専攻を修了する
と「経営管理修士(MBA)
A」が取得できるように
なった。

同専攻はエコモット社長
の入澤拓也氏が10年、石屋
製菓社長の石水創氏とS O
C社長の朝倉由紀子氏が12
年に修了している。

(清水)

販売の全国大手・ムトウ会
長の田尾延幸氏が68年卒。
「なの花薬局」運営や薬局
運営支援のメディカルシス
テムネットワーク社長、田
尻雅之氏は、96年に廃止さ
れた短大の出身で75年卒。
田尻氏は北海道ラグビー
フットボール協会会長を務
め、昨年のラグビーワールド
ドカップでは札幌での試合
開催準備に力を尽くした。
PCR検査など各種検査

ラン両氏が商大出身者だ。
これまで11回の転勤を重
ねてきたという福井氏は、
定年を控え「最後は北海道
に」と希望してUターンし
たそう。

「東京の本局があつた渋谷
では、毎週金曜に「渋谷緑
丘会」と称してよく集まっ
ていました」と、かつて本
誌の取材に語っていた。
官公庁では名古屋市長の加
藤剛士氏が93年卒。「商大



塩谷の北前船遺産 「広域観光に重要」

樽商大研究員が意義語る

小樽市塩谷地区に残る日本遺産・北前船に関連した文化財の価値を考える講演会が小樽経済センターで開催された。

「塩谷桃内まちづくり推進委員会」（前田正夫会長）

が主催し10日に開催。小樽商科大の高野宏康学術研究員が「塩谷地区の北前船遺産を活用したまちづくりの可能性」と題して講演し、約50人が耳を傾けた。

地区内の塩谷神社で6

塩谷地区の北前船遺産について講演する小樽商大の高野宏康研究員

月、北前船主が寄港地の寺社に奉納したとされる「船絵馬」が30面見つかった。高野さんは講演で、余市町との境界に近い塩谷地区に文化財が残る意義について「広域観光を推進する際に重要な場所となる」と話した。（日野夏美）

過度な自責危うき説く

香山リカさん 樽商大で講演

小樽で子ども時代を過ごした精神科医の香山リカさん(60)が14日、小樽商科大で講演した。「コロナ感染症は私たちの生き方をどう変えるか?」精神医療の現場から」と題し、「自己有用感」にとらわれすぎることと警鐘を鳴らした。

1970年に同大を卒業したOB・OGの寄付講演として授業の一環で開か

れ、オンライン配信を含め310人が聴講した。

札幌生まれの香山さんは小中学校時代を小樽で過ごし、東京医科大を卒業後、医師となった。20代後半から4年間、小樽市立第二病院(現小樽市立病院)の精

「コロナ禍でも自分の価値や意味は変わらない」と学生に伝える香山リカさん



神科に勤務した。

講演で香山さんは、コロ

ナ禍が社会や人の心にもたらした変化を分析。他者と生き抜くメッセージを送った。

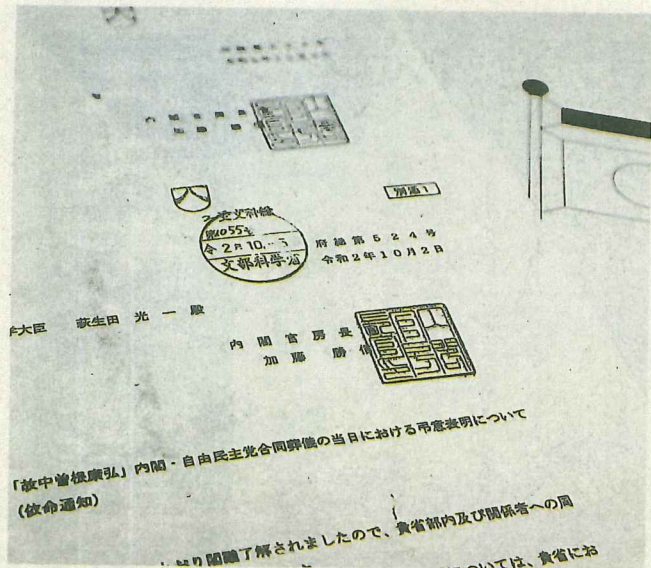
(日野夏美)

道内6国立大 弔旗掲揚へ

「言いなり」教職員不満も

中曽根氏合同葬

内閣と自民党が17日に行う故中曽根康弘元首相の合同葬に合わせ、文部科学省が全国の国立大学などに出した弔意を表すよう求める通知を受け、道内の国立大7校のうち北大など6校が弔旗の掲揚を決めたことが15日、北海道新聞の取材で分かった。各大学は「前例を踏襲した」などと理由を説明。これに対し、教職員や学生からは「大学運営に対する不当な政治介入につながりかねない」と批判の声が上がっている。（関連記事2面）



中曽根元首相の合同葬に合わせた弔意の表明を求める政府の通知

弔旗を掲揚するのは北大のほか、道教大、小樽商科大、室蘭工業大、帯広畜産大、北見工業大。各大学とも、東日本大震災の犠牲者の追悼式に合わせた政府の通知に従い弔旗を掲げていることなどを考慮し、判断したとしている。

旭医大は検討中

通知は弔旗の掲揚とともに午後2時10分に黙とうすることも求めているが、当日は土曜日で大半の教職員が休みのため、いずれの大

学も黙とうは行わない。旭川医科大は「対応を検討中」とする。

道教大は17日、通知に記された様式に従い、日の丸の半旗とその上部に黒い布を掲げ、弔意を示す。同大は「2006年に行われた橋本龍太郎元首相の合同葬の際に同様の通知に従ったことも踏まえ、対応を決めた」としている。黙とうを求められていることも教職員に伝えるが、従うかは個人の判断に任せるという。

教育基本法14条は「学校は特定の政党を支持または反対するための政治活動をしてはならない」と定めている。日本学術会議問題を巡り政治と大学や研究者との距離感が問われている最中だけに、大半の大学が足並みをそろえて通知に従うことに、現場では反発が広がる。

「憲法に反する」

北大の男性教員は文科省の要請について「弔意は個人で表明するもので、大学

などの組織に求めるべきものではない。憲法が保障する思想信条の自由にも反する」と強調。北大に対して「通知に問題意識を持たず、文科省の言いなりになるのは情けない」と批判する。

室工大の男性職員は「自然災害の被害者と政治家では弔意の性質が異なる。無批判に前例を踏襲するべきではない」と大学の対応に疑問を呈する。

合同葬の費用約2億円のうち9600万円は国費でまかない、残りは自民党が負担する。

「北大学費半減を求める有志の会」の共同代表を務める同大理学部4年の吉田泰輔さん(23)は「新型コロナウイルスの影響で多くの国民が経済的に苦しんでいる時に、多額の税金を政治家の葬儀に費やす感覚が理解できない。大学にはそうしたことに思いを至らせ、通知に従わないでほしい」と訴える。

(斉藤千絵、大能伸悟、水野寛)

